

2022年8月2日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サンリオ 代表者名の 代表取締役 役職氏名 社 長 朋 邦 (コード番号 8136 東証プライム市場) 問合せ先 専務取締役 岸村 治良 電話番号 03 (3779) 8058

2023 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の連結業績予想の修正 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022 年 5 月 13 日に公表しました 2023 年 3 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の連結業績予想並びに配当予想につきまして下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正について (2022年4月1日から2022年9月30日)

親会社株主に帰属 1株当たり 売上高 営業利益 経常利益 する四半期純利益 四半期純利益 百万円 百万円 百万円 百万円 円 銭 前回発表予想(A) 700 4.97 25, 200 900 400 (2022年5月13日公表) 今回修正予想(B) 27,800 3,300 3,500 1,300 16. 13 増減額(B-A) 2,600 2,600 2,600 900 差額率(%) 10.3 371.4 288.9 225.0 (ご参考) 前期第2四半期実績 23, 793 288 636 1,949 24. 20 (2022年3月期第2四半 期)

2. 2023 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正について (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日)

(2022 + 4)) 1 1 1 1 2 2020 + 6)) 01 1)									
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益				
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭				
前回発表予想(A) (2022年5月13日公表)	54,600	3,000	3, 500	2, 100	26. 07				
今回修正予想 (B)	57, 400	4, 700	5, 200	2, 500	31. 02				
増減額(B-A)	2,800	1,700	1, 700	400					
差額率(%)	5. 1	56. 7	48. 6	19.0					
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	52, 763	2, 537	3, 318	3, 423	42. 49				

3. 配当予想の修正について

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭		
前回予想(A) (2022年5月13日公表)	_	8.00	_	8. 00	16. 00		
今回修正予想(B)		10.00		10.00	20.00		
増減額(B-A)		2.00		2.00	4. 00		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	_	8.00	_	8. 00	16.00		

4. 第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想の修正並びに配当予想の修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の連結業績予想の修正の理由

当第1四半期連結累計期間におきまして、海外及び国内需要が計画策定時の想定より堅調に推移したことや中期経営計画に沿った構造改革の実行による売上原価率の低減等により、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、第2四半期累計期間における連結業績予想の数値を上回って着地いたしました。

したがいまして、直近の業績を反映し、2022年5月13日に公表しました第2四半期累計期間の連結業績予想を修正するものであります。

(2) 通期業績予想の修正の理由

当連結会計期間におきまして、新種の変異型ウイルスによる感染が再拡大していることから、依然として先行きは不透明な状態が続いておりますが、第2四半期累計期間における連結業績予想を上方修正したことを受け、通期業績予想に織り込むとともに、第2四半期連結会計期間以降におきましても引き続き業績が堅調に推移することが見込まれるため、通期連結業績予想を修正するものであります。

なお、通期連結業績予想の修正において営業利益 4,700 百万円を見込んでおり、中期経営計画の最終年度である 2024 年 3 月期の計画数値を上回る見込みです。これを受け当社では、中期経営計画の目標数値の見直しに着手しております。

今後の業績の進捗と事業環境の変化を慎重に見極めながら、中期経営計画の新たな目標数値を検討してまいります。数値が確定でき次第、あらためて公表を予定しております。

(3) 配当予想の修正の理由

当社は株主に対する利益還元を経営の重要事項と考えております。

最近の業績動向を踏まえ業績予想を上方修正した結果、第2四半期累計期間において1,300百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益、また、通期において2,500百万円の親会社株主に帰属する当期純利益を計上する見込みとなりました。第2四半期末の配当に関しましては、前回予想の1株当たり8円から2円増配の1株当たり10円に、また、期末配当に関しましては、前回予想の1株当たり8円から2円増配の1株当たり10円にそれぞれ修正させていただきます。これにより年間の1株当たり配当金は前回予想の1株当たり16円から4円増配の1株当たり20円となる予定です。

今後も株主に対する継続的な利益還元のため、業績向上に努めてまいりますので、引き続きご支援 を賜りますようお願い申し上げます。

※上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上